



まだ行ったことがないニッポンを取り寄せよう。

HOME ヽブログ ヽ市町村 ヽイベント ヽエンタメ ヽライブ ヽスポーツ ヽ観光 ヽお店・施設 ヽコミュニティ ヽリンク集 ヽ天気 新規登録

トピックス

HOME > トピックス一覧 > トピックス詳細

メールでページを紹介 印刷 戻る



ツリーハウスをアートに 小諸「百福センター」で建設進む

関連ページ: [観光](#) [観光のトピックス一覧](#) [小諸市](#)

(2013年1月5日)

小諸市大久保にある「安藤百福(ももふく)記念自然体験活動指導者養成センター」の山林内で、幾つものツリーハウスを建てる「小諸ツリーハウスプロジェクト」が進んでいる。青少年育成を目指し、同センターを運営する「安藤スポーツ・食文化振興財団」(大阪府)が展開する事業で、既に木造の2棟が完成し、林の中に浮かんでいるように見える。今夏までにさらに3棟建設し、将来は10棟ほどに増やす。国内外のデザイナーや建築家らのデザインをアートとして楽しみながら、自然と触れ合ってもらう目的だ。

昨年1月に「bird-apartment(バードアパートメント)」が完成。幅1・6メートル、高さ2・2メートル、奥行き2・1メートルの家型で、78個の鳥小屋が合わさった構造だ。地上からの高さは5〜6メートルで、裏側からはしごで上り、鳥小屋の中を観察できる。既に野鳥が利用しているのが確認されている。海外での評価も高いデザイナー佐藤オオキさん(カナダ出身)の作品だ。

同11月には、茅野市民館(茅野市)を設計した建築家の古谷誠章(のぶあき)さん(東京都出身)がデザインした「又庵(ゆうあん)」ができた。地上からの高さは2〜3メートル。独特の曲線が目を引く型だ。高さ2・5メートル、幅2・6メートル、奥行き2・3メートル。茶室なども参考にしている。

同財団は、即席ラーメンの生みの親で日清食品創業者の故・安藤百福さんが「食とスポーツが健康を支える両輪」との思いから設立。自然体験活動の指導者を育てようと、2010年5月に小諸市の現地に同センターを建設した。

今回は、林間に作品のように展示されたツリーハウスを気軽に見学してもらうことで、より広い範囲の人に自然への興味を持ってもらおうと考えた。小諸市をはじめ、浅間山麓6市町村を結ぶ長距離遊歩道「浅間ロングトレイル(山歩きルート)」など各地のロングトレイルの他、センターが周辺に独自に整備したトレイルコースとも関連付けて、自然に触れる場として充実させる。

ツリーハウスは一度に複数人入れるが、安全管理上、普段は上がることができない。同財団は、イベントなどで内部の公開を検討している。事務局の荒金(あらがね)善一さんは「小諸のにぎわい創出に役立ちたい。将来はツリーハウスを背景に、野外音楽フェスティバルなども開きたい」と話している。

(提供: 信濃毎日新聞)



内部が78個の鳥小屋になっている「バードアパートメント」



独特の曲線が特徴の又庵。空中に浮いているように見えるデザインだ

